



安全や環境に気を配りながら、
建物を解体しています。

株式会社加藤解体工業

所在地／豊川市宿町古十王104 TEL.0533-75-6262 <https://katokaitai.com>
創業／1969年(昭和44年) 従業員数／19名(2025年12月現在)



もっと、くわしく
みてみよう!

出張授業可能です

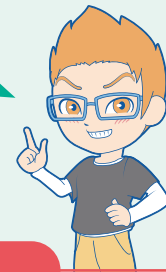
私たちの仕事

使わなくなった家やビル、工場などを壊して、その土地をまた新しく使えるようにしています。建物の材料には、重い物や硬い物が多く、高い場所での作業も多いため、安全には特に気を付けています。また、壊す時に出たゴミをきちんと分別して処理することで、地球の環境も守っています。



2つの方法で建物を解体しています!

建物を壊すというと、ショベルカーなどの重機のみで行うと思われがちですが、実は仕事の半分は手作業で行っています。



手作業

建物を構成する多くの建材を、手作業で取り外します。

【エンジン付きのこぎり】



柱や木の壁、庭木などを切る時に使います。

【電動ハンマー】



コンクリートを少しだけ削る時に使います。

はたらく車

人の手では難しい作業の時に使います。

【ショベルカー】



屋根や壁などをつかんで壊します。

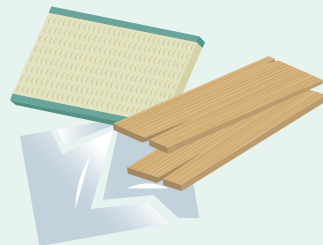
【ダンプトラック】



土、コンクリート、木、鉄くずなどを載せて処分場へ運びます。

なぜこのようなやり方をするの? //

建物にはいろいろな種類の建材が使われています。重機で一気に壊すと、それらがぐちゃぐちゃに混ざってしまいます。建材をリサイクルしたり、適切に処分するためには、手作業でゴミを分別する必要があります。



建物が解体される様子をくわしく見てみよう!

②~⑤をしながら、出たゴミを分別して処理場へ運びます。

1 下準備



現地調査の後、工事費用の見積もりを出し、お客さまと契約。近隣へ工事の挨拶もします。

2 内装材を手で壊す



天井や壁、石膏ボードなどの内装材を手作業で取り外し、建物を骨組みだけの状態にします。

3 屋根材を手で壊す



屋根にのぼり、手作業で瓦などを取り外します。万が一の落下に備えて命綱を付けて行きます。

4 骨組みを解体



柱、屋根、外壁などを重機で解体します。チリやホコリが飛び散らないよう気を付けて作業します。

5 基礎を解体



建物を支えていた基礎を解体します。重機で硬いコンクリートをバラバラにします。

6 整地、清掃



地中にゴミが残っていないか確認し、土地を平らにします。最後に現場や近隣を清掃します。

安全のための取り組み

毎月、安全会議を行い、安全対策や熱中症対策、全国で起きた事故の例などをチェック。どうすれば安全に作業できるか話し合っています。



働く人の声



工事部長
鈴木 正敏さん

解体工事の現場責任者として、事故を起こさないよう工程や安全を管理しています。危険を伴う仕事ですが、最後まで安全に作業し、お客さまに引き渡せた時はうれしいです。



企画営業
酒井 優歌さん

お客さまに安心して解体工事を任せていただけるように、仕事の流れを丁寧に説明し、不安をなくすことを心がけています。感謝の言葉をいただけた時にやりがいを感じます。